

教職員支援のための連続講演会

～ FD/SD 活動と学生支援をつなげるために～

第1回

大学は学生をどのように教育したらよいか
～高等教育論の視点から～

第2回

多様な学生の学びに教職員はどう関わったらよいか
～臨床心理学的視点から～

第3回

学生の学びと教職員の職務をどのように支援するか
～初年次教育から卒業研究まで～

第1回

日時 平成22年11月12日（金）
15：00～17：00
場所 電気通信大学総合研究棟
3階301室（マルチメディアホール）
講師 金子元久氏
国立大学財務・経営センター教授
前東京大学大学院教育学研究科長

第2回

日時 平成22年12月10日（金）
15：00～17：00
場所 電気通信大学総合研究棟
3階301室（マルチメディアホール）
講師 倉光修氏
東京大学学生相談ネットワーク本部
学生相談所長・教授 臨床心理士

第3回

日時 平成23年1月18日（火）
15：00～17：00
場所 電気通信大学本部棟別館
2階第一会議室
講師 小笠原正明氏 筑波大学特任教授
加藤由香里氏 東京農工大学
大学教育センター准教授
河田直人氏 東京農工大学
学生支援チーム副リーダー

教職員支援のための連続講演会

～ FD/SD 活動と学生支援をつなげるために～

主催：国立大学法人電気通信大学大学教育センター 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 問合せ 042-443-5305

現在、大学の教職員は、国立大学の法人化、組織改編、評価制度の導入、教育改善の推進など、現実の状況に振り回されている感があります。私たちは、まず、大学教育とは何か、大学の教職員に求められているものは何かを理解する必要があります。また、学生についていえば、志向、能力、置かれた環境が多様化し、留学生や社会人も増加しています。産業界の変化や大卒雇用の変化も視野に入れ、個々の学生の将来を見据えた指導を求められています。

このように、今、教職員にとって、大学教育とは何か、大学教職員に求められているものは何かを理解した上で、学生をより良く教育することが求められていますが、真面目な教職員ほど、学生への関わり方が分からず、悩んでいる現実があるように思います。

そこで、本センターでは、教職員支援を目的に、高等教育論と臨床心理の両分野から大学教育と学生支援を考える連続講演会を下記のように企画しました。本企画をきっかけに、FD/SD 活動と学生支援が有機的につながってネットワークが形成され、個々の教職員の力が最大限に発揮されることを期待しています。

多くの教職員の皆様のご参加をお待ちしています。

共催：国立大学法人東京農工大学大学教育センター 電気通信大学学生支援センター 電気通信大学保健管理センター

第1回

日時 平成22年11月12日（金） 15：00～17：00

場所 電気通信大学総合研究棟3階301室（マルチメディアホール）

講師 金子元久氏（国立大学財務・経営センター教授 前東京大学大学院教育学研究科長）

大学教育の歴史、グローバル時代の大学、大学が置かれている状況、学生・企業の意識、大学に求められていること、大学教員の役割について、高等教育論の視点から金子氏にお話しいただきます。

第2回

日時 平成22年12月10日（金） 15：00～17：00

場所 電気通信大学総合研究棟3階301室（マルチメディアホール）

講師 倉光修氏（東京大学学生相談ネットワーク本部学生相談所長・教授 臨床心理士）

学生対応において、講習会のみならず部局に出向いて、臨床心理的側面から教職員支援活動を行っている東京大学の倉光氏にお話しいただきます。

第3回

日時 平成23年1月18日（火） 15：00～17：00

場所 電気通信大学本部棟別館2階 第一会議室

講師 小笠原正明氏（筑波大学特任教授）

加藤由香里氏（東京農工大学 大学教育センター准教授）／河田直人氏（東京農工大学学生支援チーム副リーダー）

学生の学びの支援（学習支援）と学生対応における教職員支援（教育支援）について、はじめに、北海道大学高等教育機能開発総合センター、東京農工大学大学教育センター、筑波大学でのご経験を基に、小笠原氏にお話をいただきます。次に、加藤氏と河田氏に東京農工大学の事例を紹介していただきます。

講師略歴

金子元久氏

1950 年生まれ。シカゴ大学大学院修了（Ph. D.）。教育学者（高等教育、開発教育）。現在、国立大学財務・経営センター教授。前東京大学教育学研究科長・教育学部長、中央教育審議会委員、OECD 評議員。高等教育研究の第一人者として、その業績は日本のみならず国際的にも高い評価を得ている。著書に『大学の教育力—何を教え、学ぶか』（ちくま新書）、『グローバル化時代における工学系大学院教育』（日本学術会議工学研究連絡委員会報告書）、『教育・経済・社会』（放送大学教材）など多数。

倉光修氏

1951 年生まれ。1980 年京都大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学、博士（教育学）。現在、東京大学学生相談ネットワーク本部学生相談所長・教授、臨床心理士。著書に『臨床心理学』（岩波書店）『臨床心理士のスクールカウンセリング 2』（編著、誠信書房）『カウンセリングの心理学』（岩波書店）など多数。

小笠原正明氏

1943 年生まれ。1968 年北海道大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了。北海道大学工学部助教授、北海道教育大学教授を経て、1995 年 - 2006 年北海道大学高等教育機能開発総合センター教授、2006 年 - 2008 年東京農工大学大学教育センター教授、現在、筑波大学特任教授。工学博士。著書「TA 実践ガイドブック」（玉川大学出版）、講演「学習させる授業と『2つの文化』」など、著書講演多数。

加藤由香里氏

1966 年生まれ。2004 年電気通信大学大学院情報システム学研究科修了、博士（学術）。現在、東京農工大学大学教育センター准教授。教育評価と FD を担当。

河田直人氏

東京農工大学学生支援チーム副リーダー